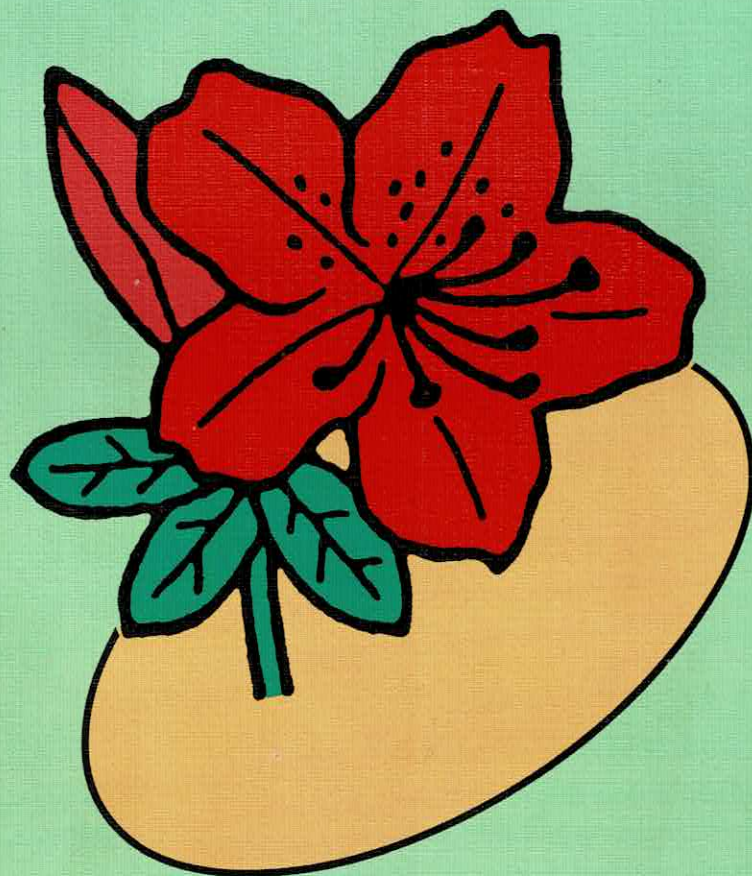


わがまち大正



大正区役所 (1995年)

大正区の花 “つつじ”

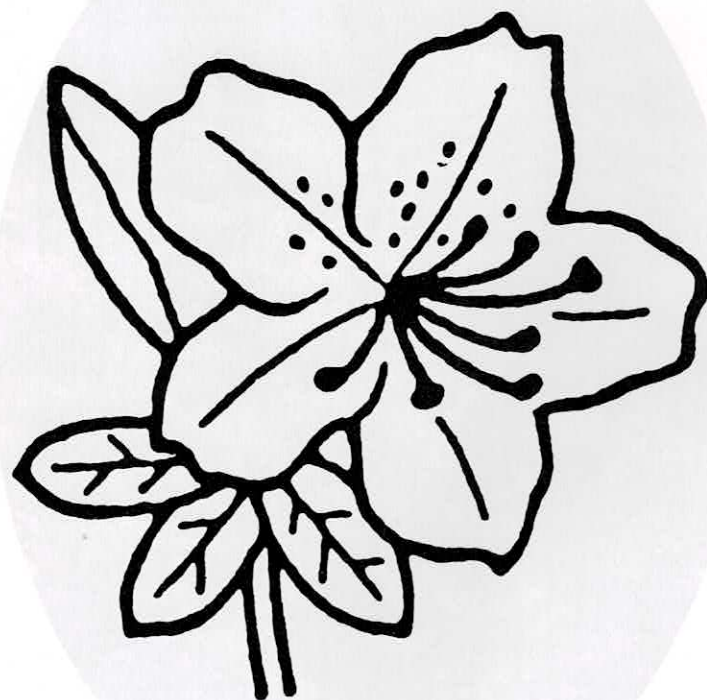


つつじ科つつじ属植物の総称で、つつじ類は日本に最も多く産し、また植栽されて広く鑑賞されるなど、古くから人々に大変愛されている花です。

常緑性のものも落葉性のものもあり、ふつう低木であるが、ときに小高木となりよく分枝して茂り、花色は紅・淡紅・濃赤・紫・白のほか、混色や咲き分けなどがあり変化に富んでいます。

昭和62年、当区の花に制定されました。

大正区の花「つつじ」のデザインマーク



昭和62年10月実施の第13回区民まつりにおいて、区の花「つつじ」が制定されました。

区の花の制定にあたっては、区民へ広く公募したところ、「桜」や大正区になじみの深い「榎」・「綿」などもありましたが、区のシンボルともいえる「昭和山」一帯に可憐に咲き誇る「つつじ」が一番多かったことによります。

このデザインには、花と緑につつまれたぬくもりあるまちづくりを通じ、21世紀に飛躍・発展する「大正区」建設への願いが込められています。

緑いきいき 街いきいき 育てよう区の花 つつじ

も く じ

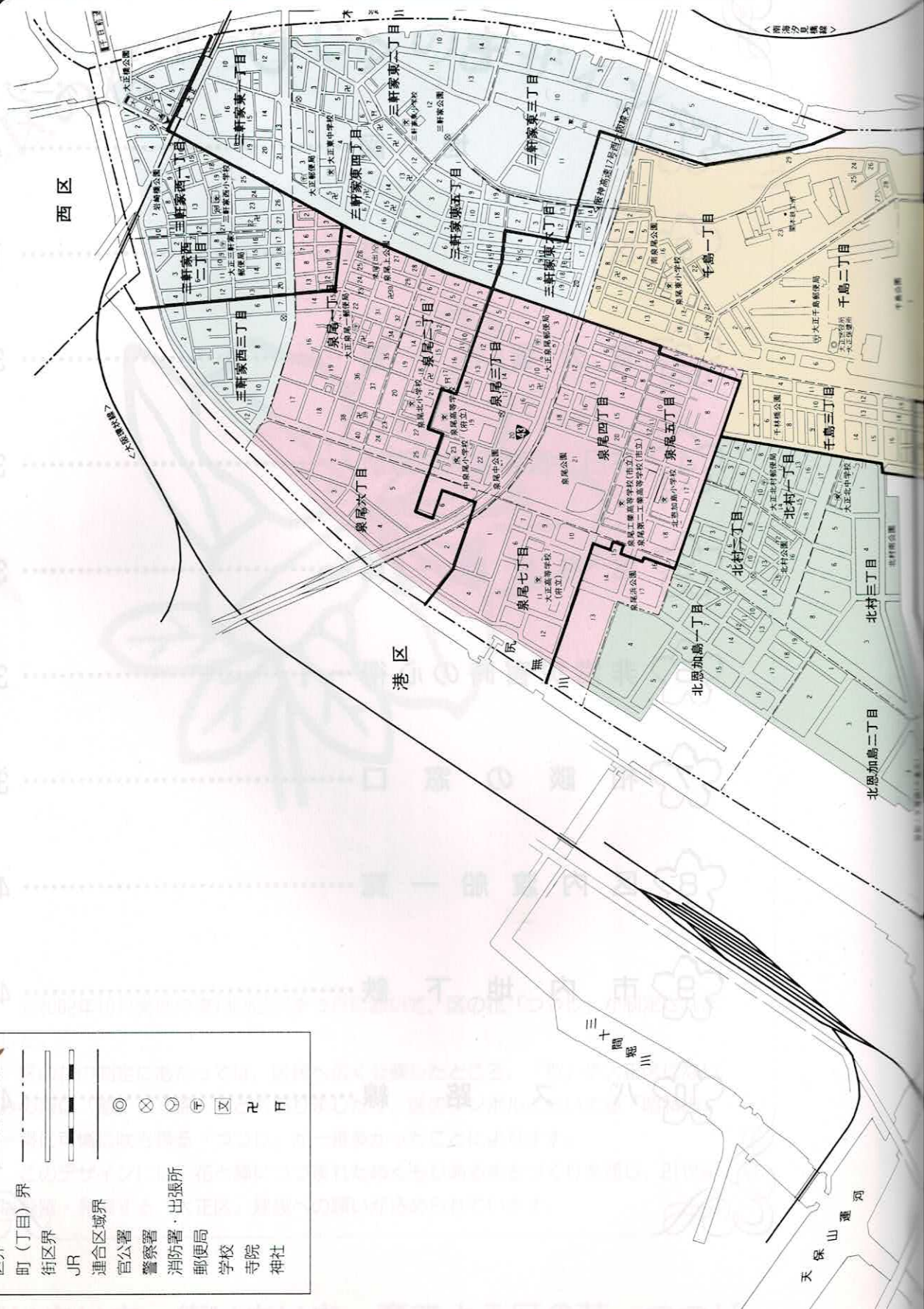
ページ

1	区 分 地 図	4
2	区 勢	12
3	官 公 署 等 一 覧	30
4	休日・夜間急病診療所	32
5	区 内 校 園 一 覧	34
6	非常災害時の心得	36
7	相 談 の 窓 口	38
8	区 内 渡 船 一 覧	41
9	市 内 地 下 鉄	42
10	バ ス 路 線	43



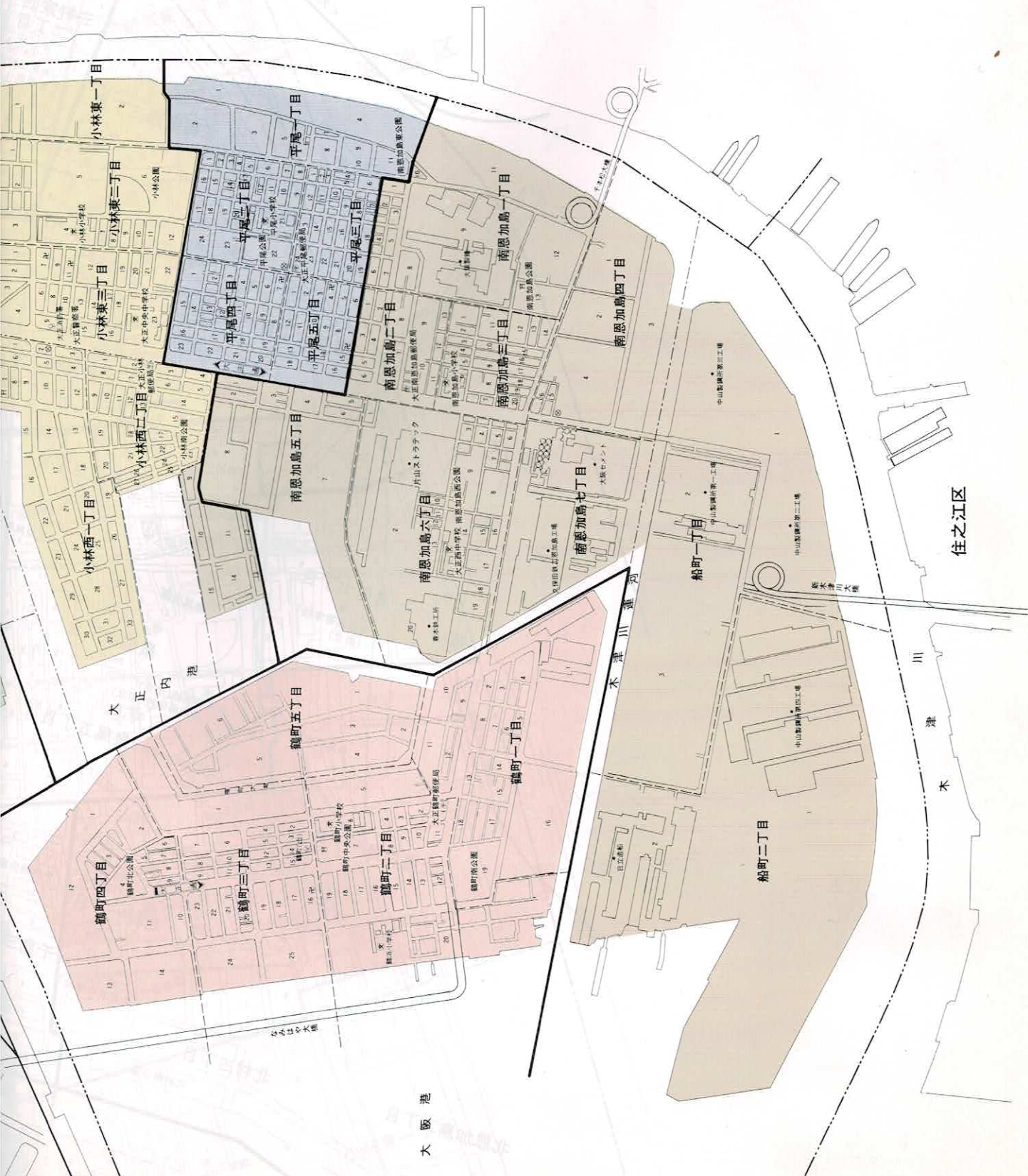
区分地図

凡 例	
区界	——
町(丁目)界	- - - -
街区界	====
JR	——
連合区域界	——
官公署	◎
警察署	⊗
消防署・出張所	⊙
郵便局	〒
学校	校
寺院	寺
神社	社



図説分町 (三神家・泉里・干島・北恩島・北林)

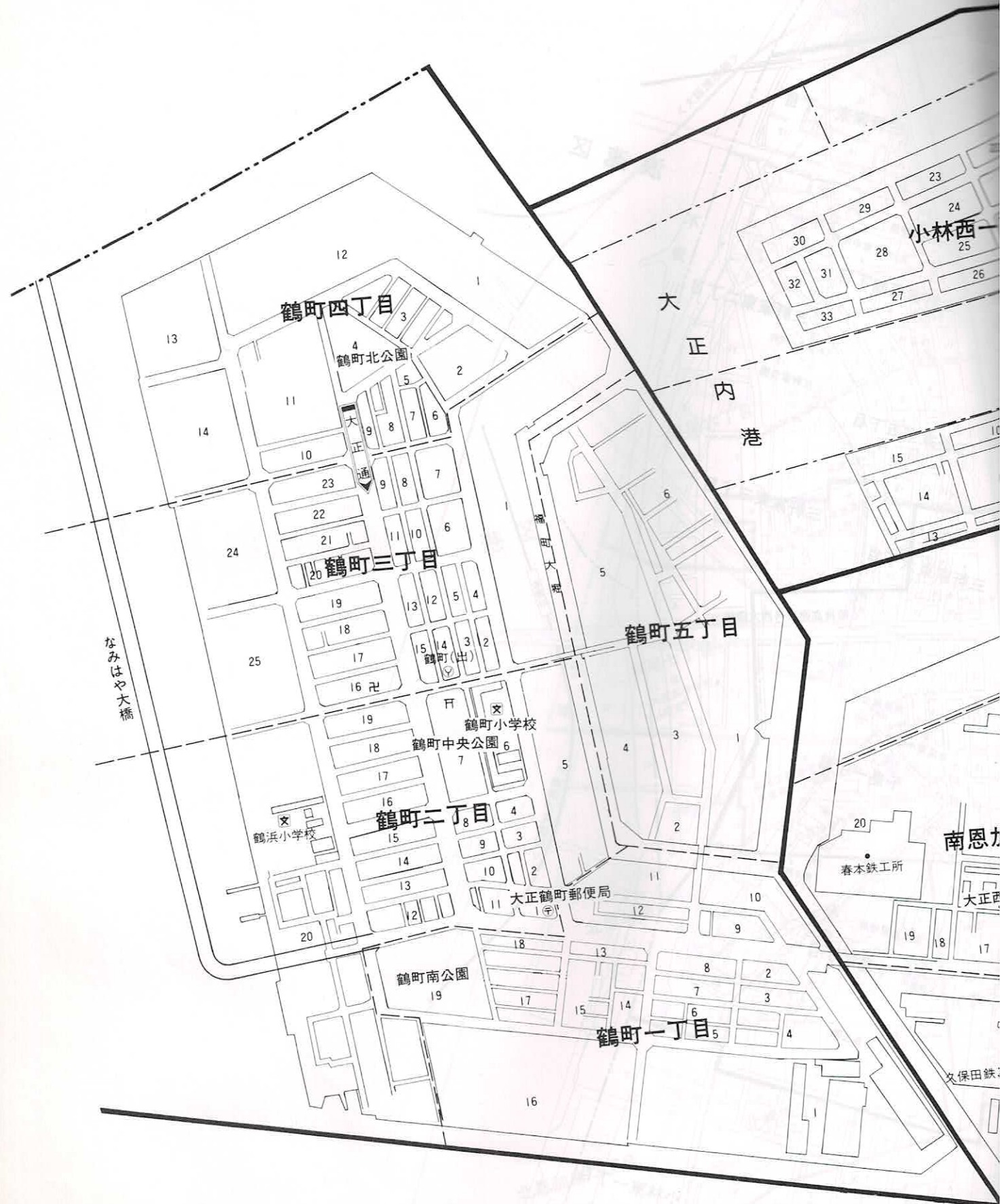
西成区



区分地図(三軒家・泉尾・千島・北恩加島・北村)

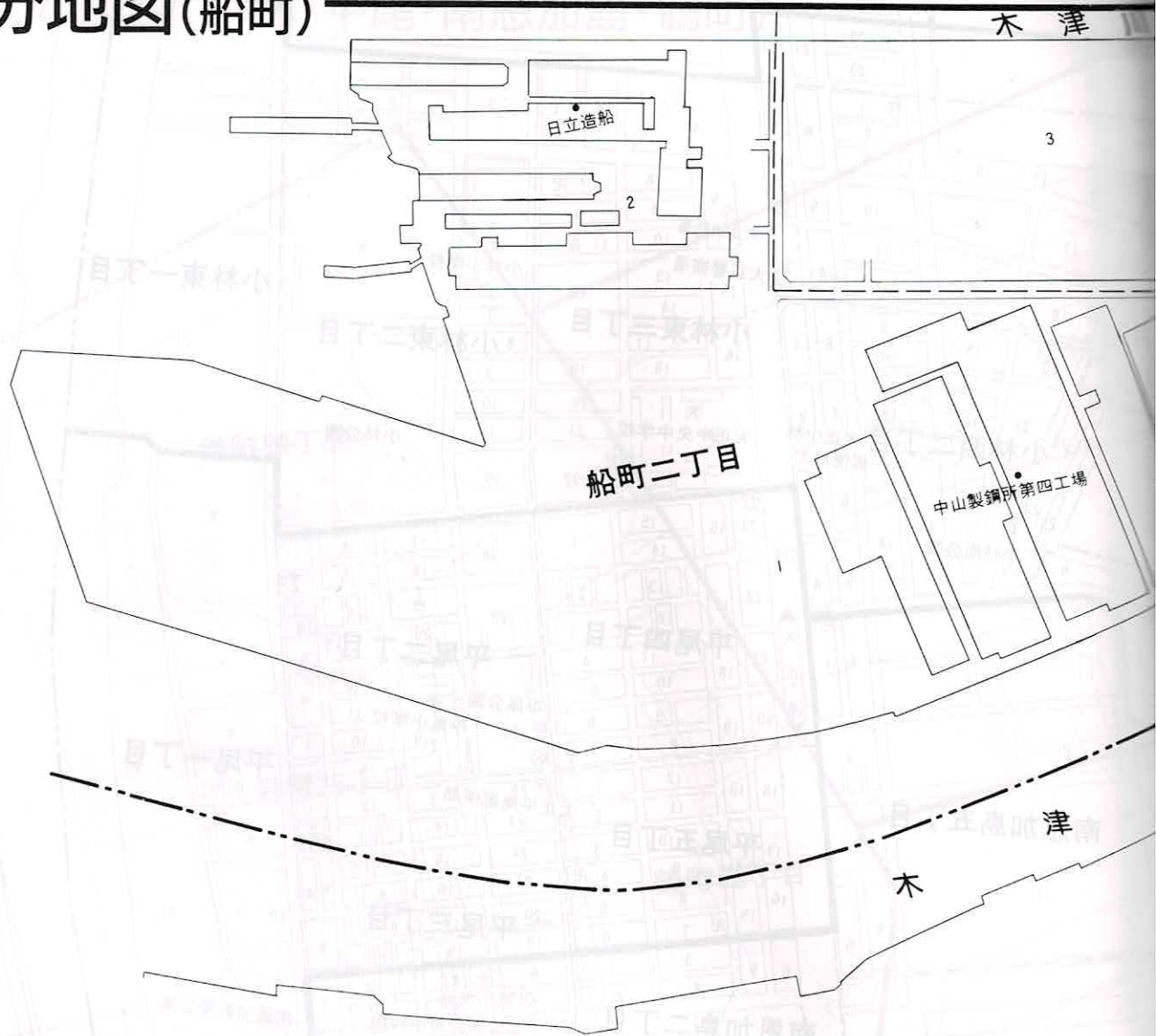


区分地図(小林・平尾・南恩加島・鶴町)





区分地図(船町)



連合名・区域

三軒家西

三軒家西 1丁目・2丁目

三軒家東 1丁目 1番～7番

泉尾 1丁目 1番～3番・4番(1・11～16号)・5番～10番
11番(1・18～30号)・12番～13番

三軒家東

三軒家東 1丁目 8番～21番・2丁目・3丁目 1番～10番・11番(24～75号)
4～5丁目・6丁目 1番～3番・12番～13番

泉尾東

三軒家東 3丁目 11番(1～23号)・6丁目 4番～11番・14番～20番

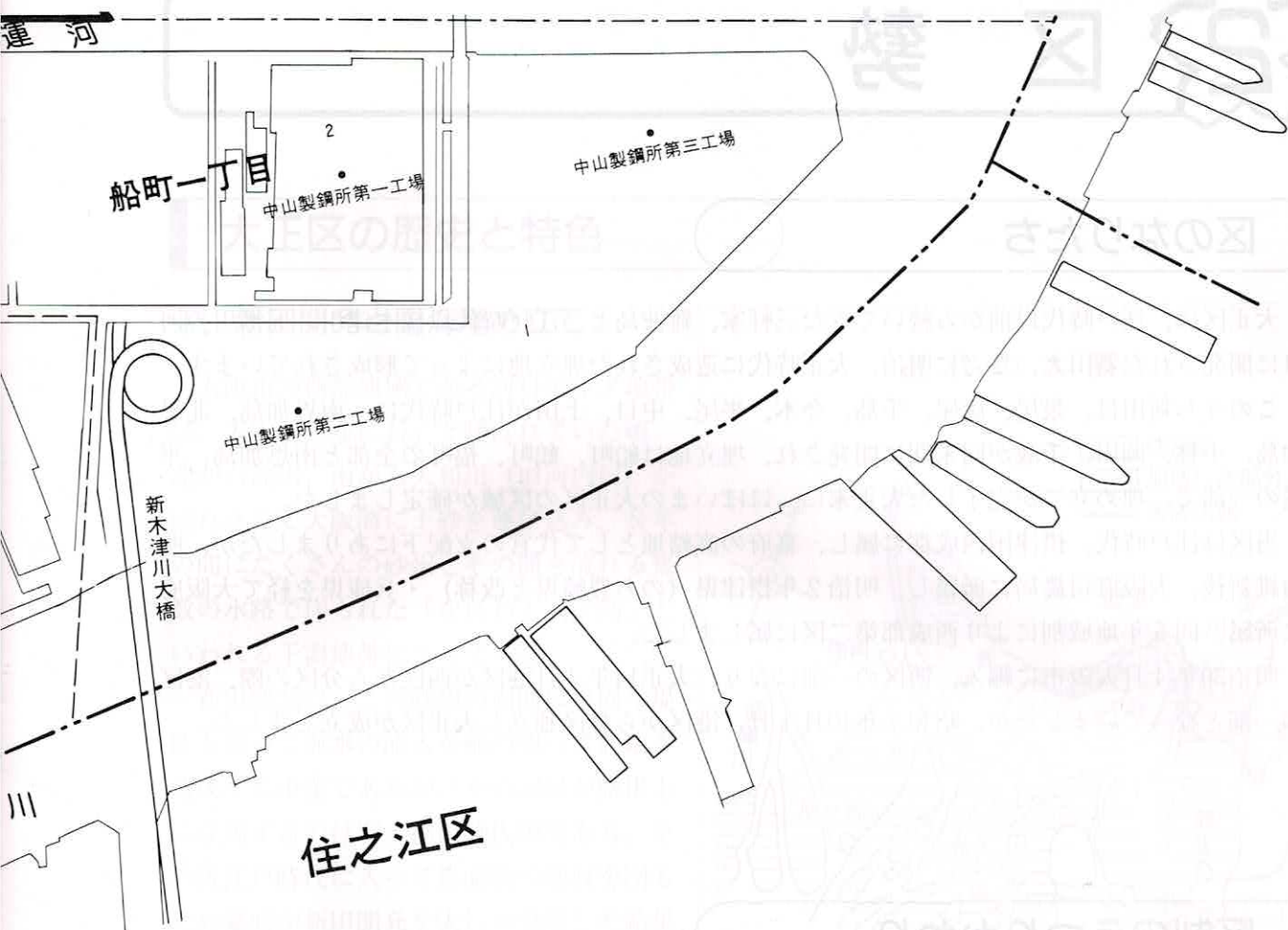
泉尾 5丁目 1番～2番・3番(1～6号・19～21号)

千島 1丁目・2丁目・3丁目 1番～19番

泉尾北

三軒家西 3丁目

泉尾 1丁目 4番(2～10号)・11番(2～17号)・14番～40番
2丁目・6丁目 1番～5番・6番(20～38号)
7丁目 2番～3番



中 泉 尾

泉 尾 3丁目・4丁目・5丁目 3番(7~18号)・4番~16番・18番
6丁目 6番(1~19号・39~42号)
7丁目 1番・4番~12番・15番(1~12号)
16番(1~11・28~30号)

北 恩 加 島

泉 尾 5丁目 17番
7丁目 13番~14番・15番(13~28号)・16番(12~27号)・17番
北恩加島 1丁目・2丁目
北 村 1丁目・2丁目・3丁目

小 林

千 島 3丁目 20番~24番
小林 東 1丁目・2丁目・3丁目
小林 西 1丁目・2丁目
南恩加島 5丁目 9番~16番

平 尾

平 尾 1丁目・2丁目・3丁目・4丁目・5丁目

南 恩 加 島

南恩加島 1丁目・2丁目・3丁目・4丁目・5丁目 1番~8番
6丁目・7丁目
船 町 1丁目・2丁目

鶴 町

鶴 町 1丁目・2丁目・3丁目・4丁目・5丁目



区 勢

区のなりたち

大正区は、江戸時代以前から続いてきた三軒家、難波島と、江戸時代以後木津川、尻無川の河口に開発された新田と、さらに明治、大正時代に造成された埋立地によって形成されています。

このうち新田は、泉尾、炭屋、千島、今木、平尾、中口、上田が江戸時代に、南恩加島、北恩加島、小林、岡田、千歳が同末期に開発され、埋立地は船町、鶴町、福町の全部と南恩加島、平尾の一部で、埋め立てが完了した大正末に、ほぼいまの大正区の区域が確定しました。

当区は江戸時代、摂津国西成郡に属し、幕府の直轄地として代官の支配下にありましたが、明治維新後、大阪府司農局に所属し、明治2年摂津県（のち豊崎県と改称）・兵庫県を経て大阪府に所属、同5年地域割により西成郡第二区に属しました。

明治30年4月大阪市に編入、西区の一部になり、大正14年4月港区が西区から分区の際、港区の一部となっていたが、昭和7年10月1日、港区から分区独立し大正区が成立しました。

区制のうつりかわり

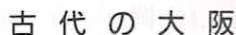
- | | |
|------------|---|
| 明治22年4月1日 | 市制施行 東、西、南、北の4区で発足 |
| 明治30年4月1日 | 第1次市域拡張 東成郡、西成郡28カ町村を東、西、南、北各区に編入 |
| 大正14年4月1日 | 第2次市域拡張 東成郡、西成郡44カ町村を編入し、4区を廃して13区（東、西、南、北、此花、港、天王寺、浪速、西淀川、東淀川、東成、住吉、西成）を置く。
東成区より旭区、港区より大正区を分区し、15区とする。 |
| 昭和7年10月1日 | 15区を廃して22区（北、都島、福島、此花、東、西、港、大正、天王寺、南、浪速、大淀、西淀川、東淀川、東成、生野、旭、城東、阿倍野、住吉、東住吉、西成）を置く。 |
| 昭和30年4月3日 | 第3次市域拡張 隣接6カ町村を城東、生野、東住吉各区に編入 |
| 昭和49年7月22日 | 行政区再編成 東淀川区、城東区、住吉区、東住吉区4区を分区し、東淀川区、淀川区、城東区、鶴見区、住吉区、住之江区、東住吉区、平野区の8区を置き、26区とする。 |
| 平成元年2年13日 | 北区と大淀区を合区し北区に、東区と南区を合区し中央区とし、24区とする。 |

1. 新田開発と臨海埋め立て

新田開発は、この砂州の周囲に堅固な堤防を築いて海水の流入を締め切って農地を造成する事業であるが、その記録が歴史上に登場するのは安土桃山時代頃である。その後江戸時代に入って農産物の増収を図るため幕府が新田開発を大いに奨励した結果、幕末までのおよそ260年間に2000余町歩、約1万5000石に達する新田が、西大阪の大和川・木津川・安治川などの河口デルタ地帯で造成された。

このように江戸時代には、農地を造成するため盛んに新田開発を行ったのであるが、明治時代に入って西欧文明の移入とともに西大阪の臨海地帯は工業地域として新しい時代の脚光を浴びることにより、大阪港の築港事業と相まって新田地先の臨海埋め立てを積極的に行うようになった。

なお戦災復興区画整理で盛土した地域は、港区と大正区と住之江区平林付近であるが、この地域はすべて新田開発と臨海埋め立てで造成された土地であった。



■新田開発の状況

区 名	新 田 名	開 発 者	開 発 面 積	開 発 年
港	池 山	池 山 新 兵 衛	38石	貞享元年 (1684)
	市 岡	市 岡 与左衛門	1,327	元禄11年 (1698)
	湊 屋	湊 屋 吉左衛門	68	宝暦 4 年 (1754)
	木 屋	木 屋 弥 平 次	19	宝暦 7 年 (1757)
	石 田	石 田 三右衛門	122	明和元年 (1764)
	田 中	田 中 又 兵 衛	350	安永 5 年 (1776)
	八 幡 屋	八幡屋 忠 兵 衛	176	文政12年 (1829)
	福 崎	福 崎 孫 四 郎	183	" (")
大 正	池 田	池 田 正 七	54	" (")
	泉 尾	北 村 六右衛門	721	元禄11年 (1698)
	千 島	岡 島 嘉 平 次	211	宝暦 7 年 (1757)
	炭 屋	炭 屋 三郎兵衛	27	宝暦13年 (1763)
	今 木	"	67	明和 7 年 (1770)
	平 尾	"	51	明和 8 年 (1771)
	中 口	中 口 勘右衛門	26	安永元年 (1772)
	恩 加 島	岡 島 嘉 平 次	232	文政12年 (1829)
	小 林	"	33	天保元年 (1830)
	岡 田	"	75	" (")
住 之 江	千 歳	嶋 屋 庄 七	177	弘化 2 年 (1845)
	東 北 島		121	享保 8 年 (1723)
	南加賀屋	加賀屋 甚 兵 衛	305	延享 2 年 (1745)
	桜 井	桜 井 甚 兵 衛	45	天保元年 (1830)
	北加賀屋	加賀屋 甚 兵 衛	92	天保 2 年 (1831)
	村 上	村 上 庄左衛門	17	" (")
	庄左衛門	"	20	" (")
	西 北 島	小山屋 久 兵 衛	東北島に含む	" (")
	嬰 木	桜 井 甚 兵 衛	16	嘉永 4 年 (1851)
	柴 谷	柴 谷 利 兵 衛	55	慶応元年 (1865)

(注) 開発面積は石高(収穫量)により推定

(新田名、開発面積、開発年は『大阪建設史夜話』、開発者は『西大阪高潮対策事業誌』により作成)

■臨海埋め立ての状況

区 名	地 名	開 発 者	工 事 名	埋め立て面積	竣 工 年
港	天 保 町	大阪市港湾部	第1次修築工事	8,800坪	明治31年
	北 福 崎 町	"	"	4,700	明治32年
	南 福 崎 町	"	"	65,200	大正6年
	埠 頭 地	"	"	339,800	大正13年
	第1・第3突堤、第2突堤基部	"	"	42,100	昭和4年
	第2突堤	大阪市港湾部	第2次修築工事	10,800	大正12年
	第8繫船岸	"	"	800	昭和12年
大正	旧ブロック製造場	大阪市港湾部	第1次修築工事	25,400	明治32年
	鶴 町	"	"	350,900	大正3年
	南恩加島町・平尾町	"	"	88,900	大正12年
	船 町	"	"	282,000	大正15年
住之江	釜 口 町	釜 口 政 吉	埋 立 工 事	122,800	明治45年
	平 林 北 之 町	大阪港湾土地(株)	"	295,700	昭和7年
	釜口町・平林南之町	平 林 甚 輔	"	177,600	昭和7年
	南 港 町	大阪市港湾部	"	190,500	昭和20年

(『西大阪高潮対策事業誌』より作成)

2. 運河と貯木場

日露戦争と第1次世界大戦は、工業生産の増加にともなって大阪港の躍進と発展を促し、臨港地帯の港区と大正区の姿を大きく変貌させることになった。

明治中期頃までの新田地帯は、米・野菜・西瓜などを生産する農村地域であった。市電の開通や運河の開削にともなって農地は、しだいに工場・商店・住宅・運河・貯木場に姿を変えて行ったが、田畑の周囲は縦横に水路が走る湿地帯になっており、この土地を市街化するには農地の盛土と運河開削や道路・下水の整備などの開発工事を行う必要があった。

そこで新田地主が協力して港区と大正区では、市岡・安治川・辰巳屋・泉尾・千島・岩田・和久・木津川・大阪港・木村・大阪木材市場などの土地会社を設立し、農地を盛土し、水路・運河を掘り、橋を架け、道路を整備するなどの経営地の開発に努めた。

西大阪の臨海地帯は港・河川・運河などの水運と平坦で広大な土地に恵まれていたため港区では、境川から市岡付近に製造工業、尻無川沿岸に木材・石油・石炭・薪炭・石材業、境川運河一帯に材木業が進出し、大正区では船町・鶴町・南恩加島・平尾付近にセメント・製鉄・造船・造機などの大工場、泉尾付近に船舶修繕・機械部品業、三軒家・難波島付近に造船業などの工場が進出し、港区と大正区は市内有数の工業地域としてめざましい発展を遂げた。

また大正区では、大正中期から昭和初期にかけて千島新田と泉尾新田一帯に土地会社が運河・貯木場・水路の開削と道路・橋梁・宅地盛土などの開発工事を総合的に実施して市内中心部の材

木業者を誘致した結果、最盛期の昭和7、8年頃には業者数約600戸に達する全国有数の木材街が出現し、その木材市場は業界の一大中心地となった。

なお貯木場は、大正区を中心部に位置し約20万坪の広大な面積を占め幅員25間の大正運河で木津川と尻無川に通じ、大阪港から木材を搬入していた。

■貯木場



(『わが大正区』)口絵

■運河の状況

運河名	開 発 者	区 間	延 長	竣 工 年
境 川	大 阪 運 河 (株)	安治川～尻無川	1,590m	明治35年
千 歳	大 阪 港 修 築 事 業	尻無川～木津川運河	1,900	大正3年
木津川	〃	築港～木津川	183	大正5年
天保山	〃	安治川～尻無川	2,476	大正6年
岩 崎	河 川 改 修 事 業	木津川～尻無川	510	大正9年
大 正	千島・岩田・大阪木材市場(土地会社)	木津川～尻無川	1,980	大正12年

(『港区誌』『わが大正区』『大正区史』『千島土地株式会社五十年小史』より作成)

3. 地盤沈下と台風

大正中期から昭和初期にかけて港区と大正区は、めざましい発展をとげ製鉄・セメント・造船・造機などの製造工業や石油・石炭・石材・薪炭・木材などの材料集散地として阪神工業地帯で重要な地位を占めるようになった。

大正14年4月の第2次市域拡張で大阪市の人口と工業生産額は、東京市を抜いて全国一の大都市に発展し、大阪港の貨物取扱量も昭和10年代に全国一の3000万tに達した。

取扱貨物は石炭・原木・鉄・穀物・鉱油（鉱物性の油）・鉱石・綿花などの原材料と繊維製品・金属製品などの加工商品で主な取引先は近隣のアジア諸国と中国・四国・九州の西日本地域で全体の90%を占めていた。

このように港区と大正区は全国有数の工業地帯として、活発な生産活動を行っていたのであるが、昭和3、4年頃からこの地域の地盤沈下現象が生産活動の障害になってきた。

そこで大阪市では、この地盤沈下現象について昭和9年から市内98カ所に水準基標を設けて地盤高の測量を開始し太平洋戦争中も休むことなく続行した。

西大阪の地盤沈下現象は、陸地測量部の水準測量によると明治時代から徐々に進行し、場所によっては36年間に57cmも沈下していた。

大阪市で水準測量を開始した昭和9年以後の地盤沈下現象は、時期によって次表のように分けられる。

時 期	特 徴	沈 下 原 因 と 防 止 対 策
昭和11年～18年 昭和19年～23年	沈下激甚期 沈下停止期	工業生産額がピークに達し地下水利用が激増した 工業生産額がピーク時の3分の1まで減少し地下水利用が激減した
昭和24年～31年	沈下漸増期	工業生産の回復にともなって地下水利用がしだいに増加したので沈下原因の地下水利用を廃止するため工業用水道の建設に着手した
昭和32年～36年	沈下激甚期	高度経済成長で地下水の利用が激増したので、工業用井戸の新設を制限しビル用水の採取を規制した
昭和37年以後	沈下終息期	工業生産額は尻上がりに増加したが工業用水道で対処し地下水の利用を廃止した

（『大阪地盤沈下対策誌』より作成）

太平洋戦争末期の臨海部の堤防や水門などの防潮施設は、維持補修の不足や沈下現象で著しく機能低下しており、その背後地も長年の地盤沈下で排水状態の悪い低湿地になっていたもので昭和20年の枕崎台風、昭和25年のジェーン台風で西大阪一帯は大きな被害を被った。

昭和20年の枕崎台風では、西大阪一帯は全域にわたって床上浸水したが地盤沈下で宅地の排水能力が極度に低下していたので長期間滞水し、市民生活にはかり知れない損害をもたらした。

さらに昭和25年9月阪神地方を襲ったジェーン台風では、西大阪一帯にわたって浸水し家屋の倒壊1610戸、流失240戸、半壊8380戸などの被害を受け、破壊的な損害を与えた。

4. 災害に強いまちづくり

港区と大正区の土地は、さきに述べたように江戸時代の新田開発と明治、大正時代の臨海埋め

立てによって出来た埋め立て地であるが、昭和中期頃から激化した地盤沈下現象で破壊的な浸水被害を受けたため、災害を未然に防ぐ有効適切な対策を早急に実施する必要に迫られた。

大阪市では、戦災復興区画整理で港区と大正区の盛土嵩上げ方針を決定し港区の安治川左岸や埠頭地区で盛土工事に着手したが、復興が急がれた都心部周辺の区画整理に力を注いだため盛土工事は遅々として進展しなかった。

昭和25年に大阪地方に襲来したジェーン台風で、盛土未了地区は大きな浸水被害を受け一部の盛土完了地区では浸水も少なくいち早く減水した。そこで昭和23年に港補償事務所(25年に港土地区画整理事務所と名称変更)、25年に大正土地区画整理事務所を現地に開設して積極的に盛土工事・換地・建物移転などの区画整理事務を進めることになった。

地盤沈下の原因は、工業用地下水の汲み上げで地下水圧が低下し、埋立地の軟弱沖積層に圧密沈下と収縮作用が加えられた結果発生したものであるということが明らかになったので、大阪市では昭和26年から工業用水道の建設に着手して工場給水するとともに地下水の汲み上げ制限を実施した。

一方、経済成長にともなう生活水準の向上により夏季にはビルの冷房用として一時に多量の地下水が汲み上げられているので、これを制限するため大阪市は、昭和34年4月「地盤沈下防止条例」を制定し、都心5区を指定してビル用井戸の新設を制限した。

また、工業用水については昭和31年6月に「工業用水法」が制定され、大阪市は西北部工業地帯に33年12月工業用地下水汲み上げ井戸の許可地域の指定を受けたが、その後も沈下は止まらず、36年9月の第2室戸台風により大きな被害をこうむった。そこで37年5月「工業用水法」の一部を改正して、地盤沈下の防止に重点をおいて工業用水道の建設を進め、工業用井戸の使用を全面的に禁止した。

その結果、昭和初期から始まった激しい地盤沈下はしだいに沈静化して行った。

また昭和22年、大阪港修築工事に着手し護岸・防潮堤の工事と併行して地盤沈下を防ぐため臨港地区の盛土を開始した。しかし、盛土は全地域に実施しないことには「災害に強い町」、「高潮に負けない町」を作ることはいできない。

そこで大阪港修築事業で護岸・防潮堤の築造工事を実施し、同時に港区全域と大正区南部地域をあわせて約400万坪の全面盛土と道路・公園の整備を施行する大規模な戦災復興土地区画整理事業―盛土地区―に着手して、水害に苦しめられた港区と大正区を根本的に改良することにしたのである。

港区と大正区は、平坦で広い土地、港・運河・水路など水運が発達した土地、大消費地に近接した土地など、工業地帯として発展を遂げるにつれて、工業用地下水の汲み上げが急増し、その結果激しい地盤沈下を招き、水陸交通に恵まれた土地が逆に弱点となって台風や高潮など水に対して極めて弱い地域になった。

盛土地区の戦災復興土地区画整理事業は、こうした地域のかかえている弱点を根本的に改善し、災害に強い、住みよいまちづくりを目指して地域全体を作り直そうとした世紀の大事業であった。

区政概要

市の南西部に位置して大阪港に面し、区の三方を木津川、尻無川、岩崎運河に囲まれ、臨海工業地帯として発展してきた。

土地区画整理事業により街は整備され、都市環境の整った「住みたい」「働きたい」「行きたい」と誰もが思う活気あるまちづくりが進んでいる。

区の中央部の千島地区は、総合庁舎、体育館、コミュニティセンター、地域図書館など公共施設が整い、コミュニティづくりの拠点ともなっている。面積11万㎡の丘陵公園（千島公園）は、標高35mの港の見える丘「昭和山」を中心に、緑と花に囲まれ、春には桜や区の花「つつじ」が公園一帯に咲き誇り、多くの小鳥の囀りなど市民の憩いの場となっている。

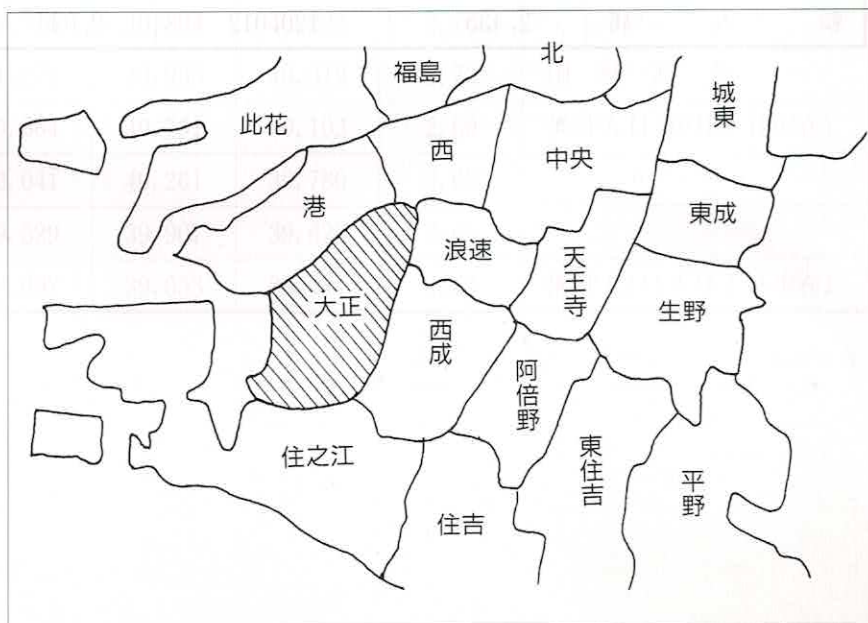
一方、北村地区には、高齢社会に対応する総合的なサービス供給体制としての福祉ゾーンが整備されつつある。また、市内最大規模のナイター設備をもつ25面の全天候型テニスコート「マリントennisパーク・北村」を中心としたグリーンゾーンは、潮の香りと緑あふれる市民の憩いの場となっている。

また、昨年12月小林地区に、今後の区の在宅福祉の拠点となる「大正区ふれあい福祉センター」が市内3番目の施設として完成した。

道路交通網の面においては、区民の利用交通機関は、JR環状線と市営バスに委ねられているが、都市新バスシステムの導入により、市営交通網が充実した。また、地下鉄7号線大正～心斎橋間の延伸は、平成9年春の「大阪ドーム（仮称）」のオープンを目標に工事が進められており、開通によせる区民の期待も大きい。

さらには、隣接区との連絡道路として、住之江区と結ぶ「新木津川大橋」、港区と結ぶ「なみはや大橋」も開通し、また、区内連絡道路として大正内港をつなぐ「千歳橋（仮称）」も工事が進められている。

区民のまちづくりにかける気運も高く、「人にやさしいまちづくり」「誰もが明るく安心して暮らせるまちづくり」の推進をはじめ、JR大正駅周辺地域整備や地下鉄の鶴町までの延伸、さらには鶴浜沖埋立地有効利用など、今後、住・職・遊の調和のとれた活気あふれるまちづくりが大いに期待されている。



地勢と人口

項 目	大 正 区	全 市	比 率	備 考
行 政 面 積	9.21km ²	220.53km ²	4.18%	5.10.1現在 国土地理院発表
人 口 (総 計)	79,097人	2,575,791人	3.07	6.4.1現在 推計
〃 (男)	39,653	1,264,054	3.14	〃
〃 (女)	39,444	1,311,737	3.01	〃
世 帯 数	30,033世帯	1,077,159世帯	2.79	〃
一世帯当たりの人口	2.63人	2.39人	—	〃
人 口 密 度	8,663人/km ²	11,684人/km ²	—	〃
本 籍 数	31,239	1,095,642	2.85	6.3.31現在
本 籍 人 口	97,603人	3,038,684人	3.21	〃
住 基 世 帯 数	31,238世帯	1,067,175世帯	2.93	〃
住 基 住 民	79,240人	2,481,464人	3.19	〃
外 国 人 登 録 数	1,442	121,933	1.18	〃
出 生 届	1,180	40,776	2.95	5年度中
死 亡 届	937	33,776	2.77	〃
婚 姻 届	1,426	50,487	2.82	〃
離 婚 届	324	11,196	2.89	〃
転 出 届	2,806	118,935	2.36	〃
転 入 届	2,435	120,012	2.03	〃

人口と世帯数の推移

年 度	世 帯 数	人 口			一 世 帯 当り人員	調 査 名
		総 数	男	女		
昭和20年	8,542	27,637	15,582	12,055	3.24	人 口 調 査
25年	15,176	59,784	32,078	27,706	3.94	国 勢 調 査
30年	18,006	78,012	41,200	36,812	4.33	"
35年	22,985	93,377	50,024	43,353	4.06	"
40年	25,528	95,509	50,198	45,311	3.74	"
45年	25,343	88,954	46,085	42,869	3.51	"
50年	27,077	88,485	45,163	43,322	3.27	"
55年	27,899	84,041	42,524	41,517	3.01	"
56年	27,864	83,611	42,238	41,373	3.00	推計人口(10月1日現在)
57年	28,015	83,228	41,977	41,251	2.97	"
58年	28,159	83,051	41,808	41,243	2.95	"
59年	28,371	82,898	41,658	41,240	2.92	"
60年	28,517	82,330	41,585	40,745	2.89	国 勢 調 査
61年	28,981	82,515	41,659	40,856	2.85	推計人口(10月1日現在)
62年	28,963	81,902	41,329	40,573	2.83	"
63年	29,091	81,513	41,114	40,399	2.80	"
平成元年	29,358	81,116	40,894	40,222	2.76	"
2 年	29,809	81,272	40,953	40,319	2.73	国 勢 調 査
3 年	30,037	80,864	40,761	40,103	2.69	推計人口(10月1日現在)
4 年	30,161	80,041	40,261	39,780	2.65	"
5 年	29,976	79,529	39,907	39,622	2.65	"
6 年	30,033	79,097	39,653	39,444	2.63	推計人口(4月1日現在)

地域別人口・人口密度

(2. 10. 1 国勢調査)

地区別	世帯数	人口			面積 (km ²)	人口密度 人/km ²
		男	女	計		
三軒家西	1,994世帯	2,522人	2,667人	5,189人	0.23	22,561
三軒家東	2,677	3,320	3,176	6,496	0.63	10,311
泉尾東	3,889	5,038	4,811	9,849	0.67	14,700
泉尾北	2,779	3,747	3,845	7,592	0.41	18,517
中泉尾	2,062	2,831	2,992	5,823	0.47	12,389
北恩加島	3,173	4,999	5,047	10,046	0.89	11,288
小林	2,817	4,071	3,766	7,837	0.95	8,249
平尾	3,355	4,729	4,549	9,278	0.47	19,740
南恩加島	3,030	4,083	3,813	7,896	2.80	2,820
鶴町	4,031	5,611	5,652	11,263	1.61	6,996
水面	2	2	1	3		
計	29,809	40,953	40,319	81,272	9.13	8,902

昼夜間人口

(2. 10. 1 国勢調査)

	夜間人口	昼間人口	昼夜増加倍率
大正区	81,269人	82,481人	1.03%
大阪市	2,623,801人	3,800,461人	1.46%
比率	3.10%	2.17%	

選挙人名簿登録者数

	大正区	全市	比率	備考
総数	62,485人	2,001,739人	3.12%	6.9.2現在
男	31,535	979,660	3.22	
女	30,950	1,022,079	3.03	

年齢人口

(2. 10. 1 国勢調査)

年 齢	大正区			大正区			大阪市		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
総数	81,269	40,957	40,312	100%	100%	100%	100%	100%	100%
0～4	3,943	2,072	1,871	4.85	5.06	4.64	4.82	5.00	4.65
5～9	4,261	2,103	2,158	5.24	5.13	5.35	4.90	5.09	4.73
10～14	4,969	2,518	2,451	6.12	6.15	6.08	5.34	5.52	5.16
15～19	6,686	3,454	3,232	8.23	8.43	8.02	7.59	7.93	7.26
20～24	6,494	3,265	3,229	7.99	7.97	8.01	8.63	8.71	8.54
25～29	5,516	2,829	2,687	6.79	6.91	6.67	7.70	7.85	7.55
30～34	4,621	2,401	2,220	5.69	5.86	5.51	6.23	6.47	6.00
35～39	5,604	2,927	2,677	6.90	7.15	6.64	6.65	6.98	6.32
40～44	7,107	3,718	3,389	8.75	9.08	8.41	8.40	8.74	8.06
45～49	6,506	3,345	3,161	8.01	8.17	7.84	7.70	7.85	7.55
50～54	5,977	3,007	2,970	7.36	7.34	7.37	7.23	7.25	7.22
55～59	5,447	2,843	2,604	6.70	6.94	6.46	6.86	6.87	6.85
60～64	4,164	2,045	2,119	5.12	4.99	5.26	5.52	5.36	5.68
65～69	3,116	1,284	1,832	3.83	3.13	4.54	4.08	3.51	4.64
70～74	2,237	936	1,301	2.75	2.29	3.23	3.02	2.42	3.61
75～79	1,702	693	1,009	2.09	1.69	2.50	2.41	1.90	2.90
80～84	953	331	622	1.17	0.81	1.54	1.40	1.03	1.76
85～89	418	138	280	0.51	0.34	0.69	0.58	0.39	0.78
90～94	115	34	81	0.14	0.08	0.20	0.15	0.09	0.21
95～99	10	4	6	0.01	0.01	0.01	0.02	0.01	0.03
100以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不祥	1,423	1,010	413	1.75	2.47	1.03	0.77	1.03	0.50

大正区における老年人口

人口総平

(国勢調査数値)

	平成 2 年			昭和 60 年			昭和 55 年		
	総 数	男	女	総 数	男	女	総 数	男	女
総 数	8,551	3,420	5,131	7,174	3,007	4,167	6,204	2,706	3,498
	10.5	8.4	12.7	8.7	7.2	10.2	7.4	6.4	8.4
65～69歳	3,116	1,284	1,832	2,585	1,132	1,453	2,553	1,155	1,398
	3.8	3.1	4.5	3.1	2.7	3.6	3.0	2.7	3.4
70～74歳	2,237	936	1,301	2,132	914	1,218	1,828	798	1,030
	2.8	2.3	3.2	2.6	2.2	3.0	2.2	1.9	2.5
75～79歳	1,702	693	1,009	1,408	547	861	1,125	488	637
	2.1	1.7	2.5	1.7	1.3	2.1	1.3	1.1	1.5
80歳以上	1,496	507	989	1,049	414	635	698	265	433
	1.8	1.2	2.5	1.3	1.0	1.6	0.8	0.6	1.0

☆各欄の下の数字は、総人口に対する構成比 (%)

地域別高齢化率

連 合	人 口 総 数	うち65歳以上	高 齢 化 率
三 軒 家 西	5,189人	960人	18.5%
三 軒 家 東	6,496	662	10.2
泉 尾 東	9,849	724	7.4
泉 尾 北	7,592	811	10.7
中 泉 尾	5,823	783	13.4
北 恩 加 島	10,046	895	8.9
小 林	7,837	638	8.1
平 尾	9,278	1,121	12.1
南 恩 加 島	7,896	958	12.1
鶴 町	11,263	1,297	11.5
計	81,269	8,849	10.9

※人口総数 平成 2 年国勢調査

高齢者数 平成 6 年実態調査(大正区社会福祉協議会)

小中学校児童・生徒数の推移

(単位 人)

年 次	小学校児童数		中学校生徒数		年 次	小学校児童数		中学校生徒数	
	大正区	大阪市	大正区	大阪市		大正区	大阪市	大正区	大阪市
昭和50年	8,112	244,726	3,526	113,993	昭和60年	7,105	196,663	3,942	120,553
51	82,58	244,497	3,566	115,811	61	6,614	185,470	4,041	118,902
52	8,282	242,800	3,622	118,664	62	6,190	175,723	3,912	114,631
53	8,408	242,511	3,727	119,192	63	5,811	167,966	3,715	108,160
54	8,598	246,645	3,617	115,197	平成元年	5,563	163,261	3,319	99,406
55	8,612	243,049	3,679	115,236	2	5,384	158,354	3,028	92,756
56	8,460	237,319	3,710	116,691	3	5,213	154,929	2,851	87,236
57	8,239	229,106	4,017	121,874	4	5,054	151,457	2,716	84,053
58	7,884	218,522	3,966	121,276	5	4,943	148,847	2,597	80,168
59	7,506	208,395	4,026	120,662	6	4,777	140,700	2,422	68,183

事業所数

区 分	事業所数	全市比率	従業者数	全市比率
全 産 業	5,434	1.99%	43,114	1.58%
建 設 業	370	2.78	5,532	2.60
製 造 業	888	2.16	14,092	2.86
電気、ガス、熱供給、水道業	4	3.31	70	0.51
運 輸 ・ 通 信 業	325	4.16	4,789	2.61
卸売・小売業、飲食店	2,616	1.99	10,377	1.07
金 融 ・ 保 険 業	50	1.11	626	0.48
不 動 産 業	215	1.35	596	0.79
サ ー ビ ス 業	963	1.65	6,597	1.09
公 務	3	1.02	435	0.97
そ の 他	0	0	0	0

道路（主要路線）・橋梁

国道43号線（建設省）（国道大阪神戸線）
 府道大阪八尾線（鶴町－岩松橋）
 市道大正内港浪速線（大浪橋－北恩加島）
 市道難波境川線（大正橋－岩崎橋）
 府道大阪羽曳野線（千本松大橋－大運橋通）

橋名	河川名	路線名	橋長	有効巾員	完成年月
大正	木津川	市道難波境川線	79.96m	41.00	昭和44.3
大浪	"	市道大正内港浪速線	81.50	19.40	昭和12.3
大浪橋西取付高架	道路	"	63.80	20.00	昭和12.3
木津川大	木津川	国道43号線	770.00	38.10	昭和45.3
岩松	岩崎運河	府道大阪八尾線	66.44	14.55	大正11.7
岩崎	"	市道難波境川線	75.60	19.20	大正9.6
尻無川	尻無川	国道43号線	738.00	33.70	昭和45.3
大船	木津川運河	市道松島南恩加島町線	76.10	15.50	昭和53.3
西福	福町入堀	市道西福橋通線	38.50	10.00	工事中
南福	"	市道福町筋線	35.20	14.80	平成3.6
大運	千歳運河	府道大阪八尾線	57.70	18.00	昭和33.3
千本松大	木津川	府道大阪羽曳野線	323.50	9.75	昭和48.10
千本松大橋西取付高架	陸	"	452.40	12.25	昭和48.10
百濟	三軒家堀割	市道百濟橋筋線	18.60	7.25	昭和5.3
新木津川大橋	木津川		2,087.00	11.00	平成6.9
なみはや大橋	尻無川	府道大阪羽曳野線	1,618.00	11.00	平成7.2
千歳橋（仮称）	大正内港	大正内港浪速線	1,000.00	10.50	工事中

公園・児童遊園

図五大式景公休情新

公園種別	公園名称	位 置	面 積	開園年月日
総合公園	千島公園	千島2丁目	112,034m ²	昭和51.4.1
地区公園	泉尾公園	泉尾4丁目	45,293	昭和25.3.31
	小林公園	小林東2丁目	35,394	昭和45.3.2
近隣公園	三軒家公園	三軒家東2丁目	14,549	昭和37.10.15
	鶴町南公園	鶴町1丁目	17,849	昭和40.7.1
	平尾公園	平尾2丁目	10,085	昭和57.3.31
児童公園	大正橋公園	三軒家東2丁目	1,528	昭和25.2.9
	鶴町中央公園	鶴町2丁目	7,710	昭和28.3.31
	泉尾上公園	泉尾1丁目	2,384	昭和31.5.17
	南恩加島東公園	平尾1丁目・南恩加島1丁目	3,500	昭和38.5.5
	南泉尾公園	千島1丁目	3,475	昭和39.10.20
	南恩加島公園	南恩加島1丁目	5,454	昭和42.5.5
	鶴町北公園	鶴町4丁目	8,275	昭和43.12.28
	小林南公園	小林西2丁目	2,114	昭和43.12.28
	岩崎橋公園	三軒家西1丁目	823	昭和43.12.28
	三軒家小公園	三軒家東6丁目	949	昭和45.3.2
	泉尾浜公園	泉尾7丁目	6,001	昭和48.4.1
	千林橋公園	千島3丁目	2,116	昭和50.4.1
	南恩加島西公園	南恩加島6丁目	1,421	昭和50.4.1
	泉尾中公園	泉尾3丁目	3,020	昭和54.4.1
	北村公園	北村2丁目	2,703	昭和55.4.1
	北村南公園	北村3丁目	7,396	平成3.3.31

種 別	名 称	位 置	面 積	備 考
児童遊園	北 村	北村1丁目	670m ²	
	三西皓養社	泉尾1丁目	925	
	難波島	三軒家東3丁目	1,194	
	小 林	小林西2丁目	264	
	北恩加島	北恩加島1丁目	307	
	岩崎橋詰	三軒家西1丁目	1,213	
	平 尾	平尾3丁目	162	
	鶴 町	鶴町1丁目	664	
	南 小 林	小林西2丁目	259	
	北 村 西	北村2丁目	657	
ちびっこ広場	三軒家東	三軒家東4丁目	134	

統計から見た大正区

児童・公園

順位	世帯数	人 口	面 積	市立小学校 児童数	市立中学校 生徒数	事業所		工 業 事業所数
						事業所数	従業者数	
総数	世帯 1,077,159	人 2,575,791	km ² 220.53	人 144,080	人 70,882	272,893	2,725,775	16,700
1	東淀川 80,685	平野 197,975	住之江 20.08	平野 11,075	平野 5,415	中央 40,829	中央 619,244	生野 2,200
2	平野 74,609	東淀川 181,341	此花 15.37	住之江 10,550	住之江 5,140	北 36,356	北 494,747	平野 1,300
3	西成 72,273	住吉 160,380	平野 15.30	東淀川 10,473	東淀川 4,788	淀川 15,495	西 186,839	東成 1,100
4	淀川 69,588	淀川 156,915	西淀川 14.23	淀川 8,544	淀川 4,331	生野 15,462	淀川 154,819	城東 1,100
5	住吉 68,062	城東 152,997	東淀川 13.26	城東 8,499	城東 4,293	西 13,791	天王寺 88,025	淀川 1,100
6	城東 62,871	生野 150,166	淀川 12.64	住吉 8,448	住吉 4,105	平野 11,435	浪速 82,048	西淀川 1,100
7	東住吉 57,750	東住吉 141,620	北 10.33	生野 8,232	生野 3,853	西成 10,941	生野 79,779	北 1,100
8	生野 57,543	住之江 139,009	東住吉 9.75	東住吉 7,428	東住吉 3,765	東住吉 10,123	平野 78,903	西成 1,100
9	住之江 52,469	西成 138,619	住吉 9.34	鶴見 6,291	阿倍野 3,252	城東 10,054	福島 77,754	東住吉 1,100
10	旭 42,948	旭 102,500	大正 9.21	都島 6,201	鶴見 2,899	東成 9,173	城東 77,192	鶴見 1,100
11	阿倍野 41,641	阿倍野 101,376	中央 8.88	西淀川 5,880	旭 2,845	住吉 8,945	東淀川 70,343	中央 1,100
12	都島 40,003	鶴見 96,590	城東 8.42	阿倍野 5,802	都島 2,746	天王寺 8,932	西淀川 65,735	福島 1,100
13	北 37,609	都島 96,326	生野 8.38	旭 5,395	西淀川 2,738	阿倍野 8,560	住之江 64,868	天王寺 1,100
14	港 37,387	西淀川 91,386	鶴見 8.16	西成 5,089	西成 2,603	東淀川 8,498	東成 64,724	都島 1,100
15	西淀川 36,407	港 89,820	港 7.90	港 5,013	大正 2,597	浪速 7,983	阿倍野 61,779	東淀川 1,100
16	鶴見 34,471	北 84,426	西成 7.35	大正 4,943	港 2,565	福島 7,691	西成 60,413	西 1,100
17	東成 32,396	大正 79,097	旭 6.30	北 4,207	北 2,264	都島 7,267	東住吉 59,847	旭 1,100
18	大正 30,033	東成 78,960	都島 6.05	東成 4,187	東成 1,929	旭 6,823	都島 55,932	住之江 1,100
19	此花 27,115	此花 68,147	阿倍野 5.99	此花 4,043	此花 1,887	港 6,647	港 54,090	大正 1,100
20	西 25,873	西 58,234	西 5.20	西 3,399	天王寺 1,813	住之江 6,615	住吉 53,355	港 1,100
21	浪速 25,450	天王寺 54,673	天王寺 4.80	天王寺 3,166	西 1,578	西淀川 6,351	此花 46,427	浪速 1,100
22	中央 24,548	福島 54,330	福島 4.67	福島 3,003	福島 1,362	大正 5,434	大正 43,114	阿倍野 1,100
23	天王寺 23,135	中央 53,149	東成 4.55	中央 2,358	中央 1,256	鶴見 5,133	旭 42,985	住吉 1,100
24	福島 22,293	浪速 47,755	浪速 4.37	浪速 1,854	浪速 858	此花 4,175	鶴見 42,813	此花 1,100
調査 期日	平成6年4月1日 (推計)	平成6年4月1日 (推計)	平成5年10月1日	平成5年5月1日	平成5年5月1日	平成3年7月1日		

官公署第一頁



(従業者4人以上)		卸売業・小売業			公 園			順位
従業者数	製造品出荷額等	商店数	従業者数	商品販売額	数	面 積	一人当たりの面積	
人 297,174	百万円 7,781,705	85,288	人 685,603	百万円 801,676	カ所 844	※7,736,781㎡ 8,205,191	※2.99㎡ 3.17	総数
淀川 28,404	西淀川 861,157	中央 14,434	中央 200,026	中央 382,638	東淀川 (1)59	中央 1,204,126	中央 22.53	1
西淀川 25,551	淀川 710,498	北 8,719	北 101,391	北 172,690	西成 58	東住吉 831,299	天王寺 7.53	2
生野 24,223	北 709,837	西 5,355	西 66,905	西 77,126	生野 51	鶴見※581,632 (1,050,042)	鶴 見 ※6.04 (10.90)	3
北 22,755	東成 453,103	淀川 4,804	淀川 35,756	淀川 28,034	平野 49	住之江 536,718	北 5.93	4
平野 21,794	平野 452,671	生野 4,577	福島 27,206	福島 25,051	住之江 48	北 503,954	東住吉 5.85	5
東成 18,100	生野 438,649	東住吉 3,453	浪速 26,645	浪速 18,531	淀川 44	天王寺 414,419	西 3.92	6
東成 17,262	此花 436,739	西成 3,436	天王寺 22,139	天王寺 12,822	西淀川 43	都島 344,439	住之江 3.84	7
鶴見 13,060	大正 414,100	福島 3,283	東住吉 17,662	東住吉 7,797	城東 43	旭 306,323	大正 3.70	8
西成 12,120	城東 381,521	浪速 3,214	生野 16,931	住之江 7,518	北 (3)40	淀川 297,044	都島 3.56	9
東淀川 12,094	鶴見 339,638	平野 3,007	阿倍野 16,010	東成 7,277	東住吉 40	大正 294,073	浪速 3.49	10
北花 11,683	東淀川 308,770	東成 2,931	東成 15,707	西成 6,956	旭 (1)32	西淀川 293,665	西淀川 3.19	11
大正 10,228	住之江 305,582	天王寺 2,891	平野 14,433	東淀川 6,704	住吉 (1)32	港 252,830	旭 2.97	12
福島 10,105	福島 285,747	阿倍野 2,861	東淀川 14,397	城東 6,219	此花 32	西 228,484	福島 2.91	13
住之江 9,498	西成 284,628	住吉 2,841	城東 14,033	阿倍野 5,503	浪速 30	東淀川 224,131	港 2.81	14
東住吉 9,477	港 229,810	城東 2,779	西成 14,010	西淀川 5,251	港 29	阿倍野 180,537	淀川 1.89	15
中央 8,230	中央 177,590	東淀川 2,524	住吉 13,077	生野 4,954	都島 (1)27	浪速 167,833	阿倍野 1.78	16
都島 6,795	都島 162,389	住之江 2,185	住之江 12,320	平野 4,783	西 27	平野 165,948	此花 1.40	17
天王寺 6,378	東住吉 159,094	都島 2,104	都島 11,431	都島 4,363	中央 25	福島 158,806	東淀川 1.23	18
旭 6,146	旭 145,498	旭 2,092	西淀川 9,836	港 3,602	天王寺 25	城東 157,275	西成 1.06	19
港 5,077	西 121,465	港 1,943	旭 8,697	住吉 3,467	阿倍野 24	西成 147,087	城東 1.02	20
西 5,006	天王寺 119,684	西淀川 1,791	港 8,424	旭 2,642	福島 (1)22	住吉 142,567	東成 0.99	21
浪速 4,990	浪速 114,649	大正 1,620	大正 6,950	鶴見 2,625	大正 22	生野 129,261	住吉 0.89	22
阿倍野 4,589	阿倍野 108,508	鶴見 1,349	鶴見 6,592	大正 2,587	鶴見 22	此花 95,652	生野 0.86	23
住吉 3,604	住吉 60,299	此花 1,095	此花 5,025	此花 2,535	東成 (1)20	東成 78,678	平野 0.84	24
平成 4 年12月31日		平成 3 年 7 月 1 日			平成 6 年 3 月31日 ※は大阪市内の面積 () 内は地区にまたがるもの (外数)			調査 期日



官公署等一覽

区役所	千島 2-7-95	☎553-3311
保健所	千島 2-7-95	☎553-5121
消防署	小林東 3-5-17	☎552-0119
泉尾出張所	泉尾 1-26-4	☎551-0119
鶴町出張所	鶴町 3-14-1	☎551-3502
警察署	小林東 3-4-21	☎555-1234
建設局		
西工営所	港区市岡 2-15-74	☎576-0761
〃大正出張所	泉尾 5-3-16	☎552-1301
西部方面公園事務所	西区靱本町 2-1-4	☎441-6748
八幡屋公園事務所	港区田中 3-1 八幡屋公園内	☎571-0552
下水道局		
西部管理事務所	西成区津守 2-7-13	☎567-6491
〃大正下水道センター	泉尾 5-3-16	☎552-7891
南恩加島抽水所	平尾 1-11-21	☎551-0983
難波島抽水所	三軒家東 3-10-10	☎551-7700
鶴町抽水所	鶴町 1-3-15	☎551-8700
千島下水道処理場	小林東 2-5-59	☎551-0766
港湾局		
施設保全事務所	港区海岸通 3-4-55	☎572-0010
建設事務所	港区築港 2-8-24	☎572-5121
木津川渡船事務所	船町 1-1-4	☎551-3143
水道局		
境川営業所	西区九条南 1-4-18	☎551-8067
大正サービスステーション	千島 2-7-95	☎551-0498
環境事業局		
西事務所	西区九条南 1-9-21	☎581-0023
大正工場	南恩加島 1-11-24	☎553-0464
木津川処理場	南恩加島 1-11-35	☎551-1730
小林斎場	小林東 3-12-8	☎551-0402
交通局		
鶴町営業所	鶴町 4-11-55	☎552-6551
大正会館(大正コミュニティセンター)	千島 2-6-15	☎553-5511
大正区民ホール	千島 2-7-95	☎553-3311
大正図書館	千島 2-6-15	☎552-1116
千島体育館	千島 2-7-93	☎553-7800
勤労婦人センター	泉尾 3-9-16	☎554-5376
大正区老人福祉センター	泉尾 3-9-16	☎554-5330
大正区ふれあい福祉センター	小林西 1-14-3	☎555-7575
大正勤労青少年ホーム	泉尾 3-9-16	☎554-5377

大 正 郵 便 局	三軒家東 4-3-22	☎553-8082
大 正 三 軒 家 郵 便 局	三軒家西 2-8-12	☎551-4203
大 正 泉 尾 一 郵 便 局	泉尾 1-33-28	☎551-4243
大 正 泉 尾 郵 便 局	泉尾 3-8-17	☎551-4262
大 正 北 村 郵 便 局	北村 1-10-16	☎551-6971
大 正 平 尾 郵 便 局	平尾 3-24-15	☎551-4292
大 正 小 林 郵 便 局	小林西 2-2-8	☎551-4254
大 正 南 恩 加 島 郵 便 局	南恩加島 2-7-25	☎551-4253
大 正 鶴 町 郵 便 局	鶴町 2-1-1	☎551-4272
大 正 千 島 郵 便 局	千島 2-4-5	☎551-0308
N T T 新 町 支 店	西区新町 4-6-9	☎535-1611
港 税 務 署	港区磯路 3-20-11	☎572-3901
西 府 税 事 務 所	西区本田 1-6-16	☎581-1221
西 労 働 基 準 監 督 署	西区南堀江 1-22-11	☎531-0801
西 公 共 職 業 安 定 所	港区南市岡 1-2-34	☎582-5271
市 岡 社 会 保 険 事 務 所	港区磯路 3-25-17	☎571-5031
堀 江 社 会 保 険 事 務 所	西区北堀江 3-10-1	☎531-5241
西 大 阪 治 水 事 務 所	西区江之子島 2-1-64	☎541-7771
大阪国道事務所西大阪維持出張所	三軒家東 5-6-4	☎553-8825
地 域 施 設		
三 軒 家 西 会 館	三軒家西 1-7-5	☎551-4288
三 西 皓 養 社 会 館	泉尾 1-8-18	☎551-2042
三 軒 家 東 福 祉 会 館	三軒家東 2-5-17	☎551-2997
泉 尾 東 福 祉 会 館	千島 2-2-8	☎551-4289
泉 尾 北 会 館	泉尾 2-13-20	☎553-4251
アクティブ中泉尾会館	泉尾 4-21-4	☎555-4991
北 恩 加 島 会 館	北村 1-15-11	☎551-5932
小 林 会 館	小林東 2-6	☎555-6510
平 尾 会 館	平尾 2-23-2	☎552-9624
南 恩 加 島 会 館	南恩加島 2-7-17	☎552-9820
鶴 町 福 祉 会 館	鶴町 2-16-26	☎553-1905
鶴 町 第 二 福 祉 会 館	鶴町 3-2-16	☎555-6750
老 人 憩 の 家		
三 軒 家 西 老 人 憩 の 家	三軒家西 1-7-5	☎551-4288
三 軒 家 東 老 人 憩 の 家	三軒家東 2-5-17	☎551-2997
泉 尾 東 老 人 憩 の 家	千島 2-2-8	☎551-4289
泉 尾 北 老 人 憩 の 家	泉尾 2-13-20	☎553-4251
中 泉 尾 老 人 憩 の 家	泉尾 4-18-5	☎554-6788
北 恩 加 島 老 人 憩 の 家	北村 1-15-11	☎551-5932
小 林 老 人 憩 の 家	小林西 2-6-7	☎555-6510
平 尾 老 人 憩 の 家	平尾 2-23-4	☎552-9624
南 恩 加 島 老 人 憩 の 家	南恩加島 2-7-17	☎552-9820
鶴 町 老 人 憩 の 家	鶴町 2-12-26	☎553-1905
鶴 町 第 二 老 人 憩 の 家	鶴町 3-2-16	☎555-6750



休日・夜間急病診療所

■休日・夜間の内科・小児科急病診療

科目	昼夜別	診療日	診療受付時間	診療所
内科 ・ 小児科	昼間	日曜日 祝日 年末年始 12/30～1/4	午前10時～ 午後4時30分	(西部休日診) 西九条休日急病診療所 此花区西九条5-3-43 ☎(06)464-2111
				(北部休日診) 十三休日急病診療所 淀川区十三東1-11-26 ☎(06)304-7883
				(東北部休日診) 都島休日急病診療所 都島区都島南通1-24-23 ☎(06)928-3333
				(東部休日診) 今里休日急病診療所 東成区大今里西3-6-6 ☎(06)972-0767
				(東南部休日診) 中野休日急病診療所 東住吉区中野3-2-12 ☎(06)705-1612
				(西南部休日診) 沢之町休日急病診療所 住吉区千駄2-2-6 ☎(06)672-6021
	夜間	平日	午後10時～ 翌朝5時30分	中央急病診療所 西区新町4-10-13 ☎(06)534-0321
		土曜日 (祝日を除く)	午後3時～ 翌朝5時30分	
		日曜日 祝日 年末年始 12/30～1/4	午後5時～ 翌朝5時30分	

■土曜・休日の眼科・耳鼻咽喉科急病診療

科目	昼夜別	診療日	診療受付時間	診療所
眼科 ・ 耳鼻咽喉科	昼間	土曜日 (祝日を除く)	午後3時～ 午後9時30分	中央急病診療所 西区新町4-10-13 ☎(06)534-0321
	夜間	日曜日 祝日 年末年始 12/30～1/4	午前10時～ 午後9時30分	

《お願い》 ●受診の際は、健康保健証（老人医療証なども）をご持参下さい。

●診療は応急的な処置ですので、翌日はかかりつけの医師の診察を受けて下さい。





区内校園一覽

高等学校

泉尾工業高等学校（市立）	泉尾5-16-7	☎552-2221
泉尾第二工業高等学校（市立）	泉尾5-16-7	☎551-7200
泉尾高等学校（府立）	泉尾3-19-50	☎552-0026
大正高等学校（府立）	泉尾7-11-20	☎554-3100

中学校

大正東中学校	三軒家東4-4-30	☎551-0630
大正中央中学校	小林東3-23-5	☎552-6565
大正西中学校	南恩加島6-14-37	☎551-0294
大正北中学校	北村3-1-1	☎554-6050

小学校

三軒家西小学校	三軒家西1-20-26	☎551-0022
泉尾東小学校	千島1-16-16	☎551-0081
中泉尾小学校	泉尾3-23-24	☎551-0068
北恩加島小学校	泉尾5-17-31	☎551-0020
南恩加島小学校	南恩加島3-6-11	☎551-0047
鶴町小学校	鶴町2-6-24	☎551-0023
泉尾北小学校	泉尾2-21-24	☎551-0028
平尾小学校	平尾2-21-28	☎551-3294
三軒家東小学校	三軒家東2-12-63	☎551-4508
小林小学校	小林東2-4-45	☎553-0010
鶴浜小学校	鶴町2-20-26	☎551-1956

市立幼稚園

三軒家西幼稚園	三軒家西1-23-23	☎551-1749
泉尾幼稚園	千島3-16-2	☎551-0052

私立幼稚園

昭和幼稚園	泉尾1-37-1	☎551-1055
北恩加島幼稚園	泉尾5-17-31	☎551-2856
南恩加島幼稚園	平尾5-7-7	☎551-2408
昭光幼稚園	南恩加島1-12-39	☎551-5619
鶴町幼稚園	鶴町3-17-7	☎551-0343

市立保育所

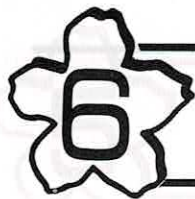
大正南保育所	北村1-7-8	☎551-1279
大正北保育所	泉尾2-8-8-101	☎551-5038
大正保育所	平尾2-23-5-101	☎552-0300
北恩加島保育所	泉尾7-14-2-108	☎553-5521
鶴町保育所	鶴町3-22-1-109	☎554-5372
大浪保育所	三軒家東2-5-4-101	☎554-5374
千島保育所	千島2-4-38	☎554-6075

私立保育所

鶴町学園	鶴町3-3-1	☎552-0851
めぐみ保育園	小林東2-3-5-101	☎553-4025
ファミリー保育園	三軒家東5-7-14	☎553-5078
ファミリー保育園ジュニア	三軒家東5-3-1	☎554-7560
ファミリー保育園チシマ	千島3-16-16	☎552-0889

ベビーセンター

泉尾ベビーセンター（私立）	泉尾1-26-12	☎551-4612
鶴町ベビーセンター（私立）	鶴町2-12-26	☎553-1905



非常災害時の心得

区民のみなさん、災害は思わぬときにやってきます。「いざ」というときあわてないようにふだんから、次のことがらに注意して準備をととのえておきましょう。

平素の心得

- ★避難場所及び道順をよく覚えておき、家族がはぐれたときの連絡方法をあらかじめ話し合っておきましょう。
- ★非常持ち出し品を、いつも整理しておきましょう。
- ★屋根・窓・壁などの家屋の危険箇所を早めに整備し、避難具や消化器を点検しておきましょう。



災害発生のおそれがあるとき

- ★ラジオ・テレビ・公共機関（区役所・警察署・消防署等）からの正しい情報を聞き、デマにまどわされないようにしましょう。
- ★台風情報や豪雨情報は、いつものこととあなどらないようにしましょう。
- ★停電・断水に備え、懐中電灯・携帯ラジオ・飲み水を準備しておきましょう。

情報の連絡は

- ★災害情報の同報無線による伝達

避難指示をはじめ、緊急を要する災害関連情報については、広域避難場所や小学校、防潮堤、区役所に設置したスピーカーで、直接区民のみなさんにお知らせします。



避難するとき

- ★ガス・電気はもちろん、火の始末、戸じまりを完全にしましょう。
- ★避難は、正確な情報に基づき、老人・子ども・身体の不自由な人・病人等を優先的に、家族・隣り近所一団となって行動しましょう。
- ★区役所・警察署・消防署・赤十字奉仕団の指示に従って行動しましょう。
- ★食料(2～3食分)・飲み水・貴重品を忘れず持ち出しましょう。

避難場所

避難施設	電話番号	避難施設	電話番号
三軒家西小学校	☎551-0022	鶴町小学校	☎551-0023
三軒家東小学校	☎551-4508	鶴浜小学校	☎551-1956
泉尾東小学校	☎551-0081	大正東中学校	☎551-0630
泉尾北小学校	☎551-0028	大正北中学校	☎554-6050
中泉尾小学校	☎551-0068	大正中央中学校	☎552-6565
北恩加島小学校	☎551-0020	大正西中学校	☎551-0294
小林小学校	☎553-0010	泉尾高等学校	☎552-0026
平尾小学校	☎551-3294	泉尾工業高等学校	☎552-2221
南恩加島小学校	☎551-0047	大正高等学校	☎554-3100

◇大震災時の避難場所 (広域避難場所)

大正区の広域避難場所は
千島公園一帯です

連絡先

あわてないで
ダイヤルを！

- 火事・救急は119
- 警察への急報は110
- ガス漏れの急報は...583-0223

- 電気 ☎582-2881
- ガス ☎586-3190
- 水道 ☎581-8067
- 下水道 ☎552-7891
- 道路 ☎552-1301
- ゴミ処理 ☎581-2030
- 大正区役所 ☎553-3311
- 大正保健所 ☎553-5121
- 大正警察署 ☎555-1234
- 大正消防署 ☎552-0119



相談の窓口

こんなときの問い合わせ・相談は

母子手帳や保健・環境・食品衛生のことは	大正保健所 千島 2-7-95	☎553-5121
ごみ処理のことは	環境事業局西事務所 西区九条南 1-9-21	☎581-2030
道路のことは	建設局西工営所大正出張所 泉尾 5-3-16	☎552-1301
公園や街路樹のことは	八幡屋公園事務所 港区田中 3-1 八幡屋公園内	☎571-0552
下水のことは	大正下水道センター 泉尾 5-3-16	☎552-7891
水道のことは	水道局大正サービスステーション 千島 2-7-95	☎551-0498
防火のご相談は	大正消防署 小林東 3-5-17	☎552-0119
交通・防犯のことは	大正警察署 小林東 3-4-21	☎555-1234
厚生年金・社会保険のことは	市岡社会保険事務所 港区磯路 3-25-17	☎571-5031
労務災害や雇用関係のことは	大阪西労働基準監督署 西区南堀江 1-22-11	☎531-0801
求職と求人・雇用保険のことは	西公共職業安定所 港区南市岡 1-2-34	☎582-5271
不動産の登記のことは	大阪法務局西出張所 西区江之子島 1-2-14	☎441-5407
郵便のことは	大正郵便局 三軒家東 4-3-22	☎553-8083
電気のことは	関西電力九条営業所 西区九条南 1-11-56	☎582-2881
ガスのことは	大阪支社お客様センター 西区千代崎 3-2-95	☎586-3200
電話のことは	NTT新町支店 西区新町 4-6-9	☎531-2042
老人の健康・生活のことは	大正区老人福祉センター 泉尾 3-9-16	☎554-5330
講習会・サークル活動などは	大正会館(大正コミュニティセンター) 千島 2-6-15	☎553-5511

区内渡船一覧

市民相談

日常生活から生ずる様々な問題の解決の一助として、区役所と市役所で、専門家による各種相談をおこなっています。

相談はいずれも無料です。お気軽にご利用ください。

	相談種別	相談内容	相談場所と時間	
			区役所 (広聴広報係 ☎553-3311)	市役所 (市民局広聴相談課 ☎208-8000)
専門相談	法律相談	土地・建物、金銭貸借、離婚、相続などの法律上の相談	毎月第2・4水曜日 13:00～16:00 (受付は9:00～15:00) (先着順8～9名程度)	月～金曜日 13:00～16:00 (受付は1週間前から電話予約、 9:30～12:00予約専用電話 ☎208-8800へ)
	サラ金相談	サラ金問題に関する相談	—	火・金曜日 13:00～16:00 (受付は法律相談と同じ)
	交通事故相談	交通事故の被害者・加害者のために事故解決のための相談	毎週木曜日 13:00～16:00 (受付は9:00～15:00)	月～金曜日 10:00～16:00 (受付は15時まで)
	家庭問題相談	夫婦・親子などの家庭問題や人間関係、人生問題などの相談	毎月第3水曜日 13:00～16:00 (受付は9:00～15:00)	月・水曜日 10:00～13:00 (受付は12時まで)
	税務相談	所得税・相続税・固定資産税などの税金全般にわたる相談	毎月第3火曜日 13:00～16:00 (受付は9:00～15:00)	木曜日 13:00～16:00 (受付は15時まで)
	年金相談	厚生年金、国民年金などの社会保険全般にわたる相談	—	火曜日 13:00～16:00 (受付は15時まで)
相談	登記相談	不動産の登記に関する相談	—	水曜日 13:00～16:00 (受付は15時まで)
	教育相談	小・中学生のいじめや登校拒否などの教育上の相談	区役所第7会議室 毎週金曜日 10:00～16:00 (12:15～13:00休憩)	教育委員会事務局 毎週水・木曜日 10:00～16:00 (受付は15時まで) ☎208-9187

(注) ★相談者多数の場合、受付時間内でもお断りすることがあります。

★相談日が祝日の場合は翌日行います。(交通事故・教育相談は除く)

テレホンサービス

観光情報（市内の観光施設の紹介と案内）	☎945-0019
台所情報（毎日の生鮮食料品の価格、入荷状況、献立のヒント、生活情報など）	☎271-2241
青少年活動の情報（サークル活動や、野外活動の情報を提供）	☎942-0400
スポーツ情報センター（スポーツ施設、スポーツ教室指導者の紹介）	☎223-0033
中央図書館調査相談室（ふとした疑問や調べものなどの調査と相談）	☎541-6500
花と緑の相談（家庭園芸から野菜づくりまで、初歩専門を問わず）	☎697-7856
市営住宅入居者募集（一般住宅のほか、特別賃貸住宅、親子近居住宅の募集）	☎945-0031
市営交通案内 （バス、地下鉄、ニュートラムの料金、乗車経路、所要時分、乗継地点、乗り場などの案内）年中無休 8時30分～17時（ただし12/29～1/3を除く）	☎582-1400
市政情報（施設・催し・各種相談窓口案内）	☎454-8600

☆市政情報サービスと民間情報をドッキング

（例）「大阪城の利用時間を知りたい」

「家族でその周辺で食事するのに適当なレストランを」

などと問いかければ直ちに答えてくれる……

NTTハローダイヤル大阪
☎(06)454-8600

利用時間 日曜日・祝日 午前9時～午後5時
それ以外の日 午前9時～午後8時
料 金 通話料のみ

サービスコーナー

●市民サービスコーナー

共働きの市民をはじめ、広く市民の利便をはかるため、住民票の写しの交付等の業務を取り扱っています。《平日 午前8時～午後7時》

梅田市民サービスコーナー	☎313-3913 地下鉄谷町線 東梅田駅構内
本町市民サービスコーナー	☎245-0473 地下鉄御堂筋線 本町駅構内

●大阪ハウ情報コーナー

健康づくりや趣味、文化活動のほか、行事などの各種情報の提供を行っています。

市庁舎1階 市民相談室内	☎208-8100
--------------	-----------

8

区内渡船一覧

周囲を水に囲まれた大正区は、大正初期まで、三軒家と難波島を除く大部分がのどかな農村地帯で、交通機関の発達には遅く、井路を往き来する小船と、木津川や尻無川の渡しが重要な交通機関であった。

モーターゼーションが発達したいまも、渡しは続いており、近代都市のなかの風物詩となっている。

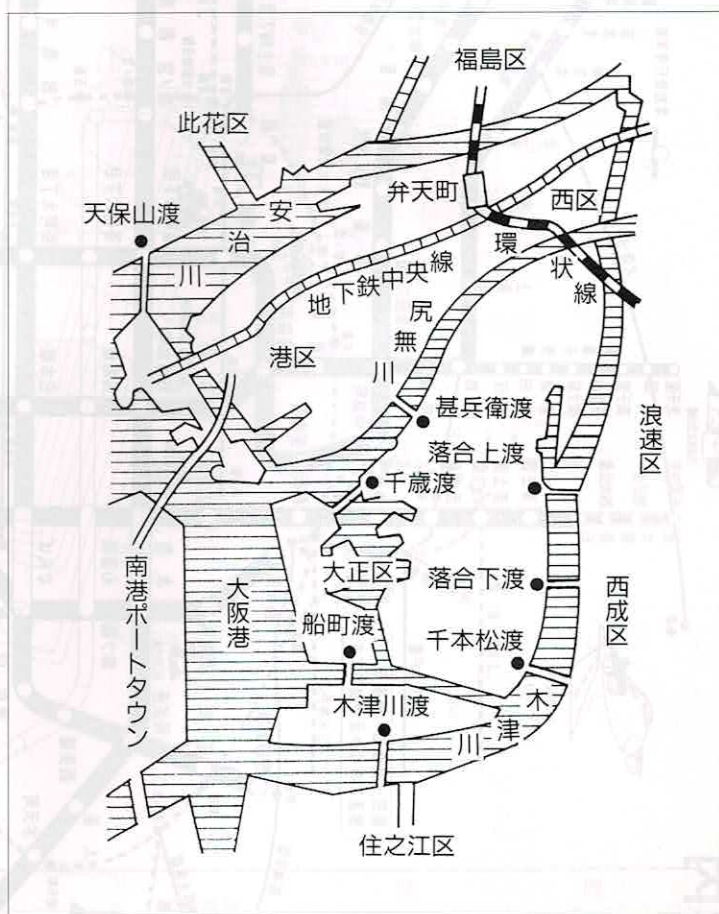
渡船は江戸時代からはじまり、西成郡史によると明治時代のはじめには当地区につぎの渡しがあった。

▼木津川筋

三軒家村の西側町渡、三軒家上ノ渡、三軒家渡、材木置場町の筋違渡、中口新田の中口渡、炭屋新田の落合上ノ渡、千島新田の落合下ノ渡、宮ノ前渡

▼尻無川筋

甚兵衛渡

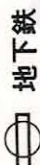


市内の渡しは、現在残り 8 カ所となり、そのうち 7 カ所は大正区内にあり、1 日の利用客は約 6 千人である。

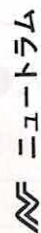
9

市内地下鉄

路線ご案内



地下鉄



ニュートラム

凡例

御堂筋線



谷町線



四つ橋線



中央線



千日前線



堺筋線



鶴見緑地線



南港ポートタウン線



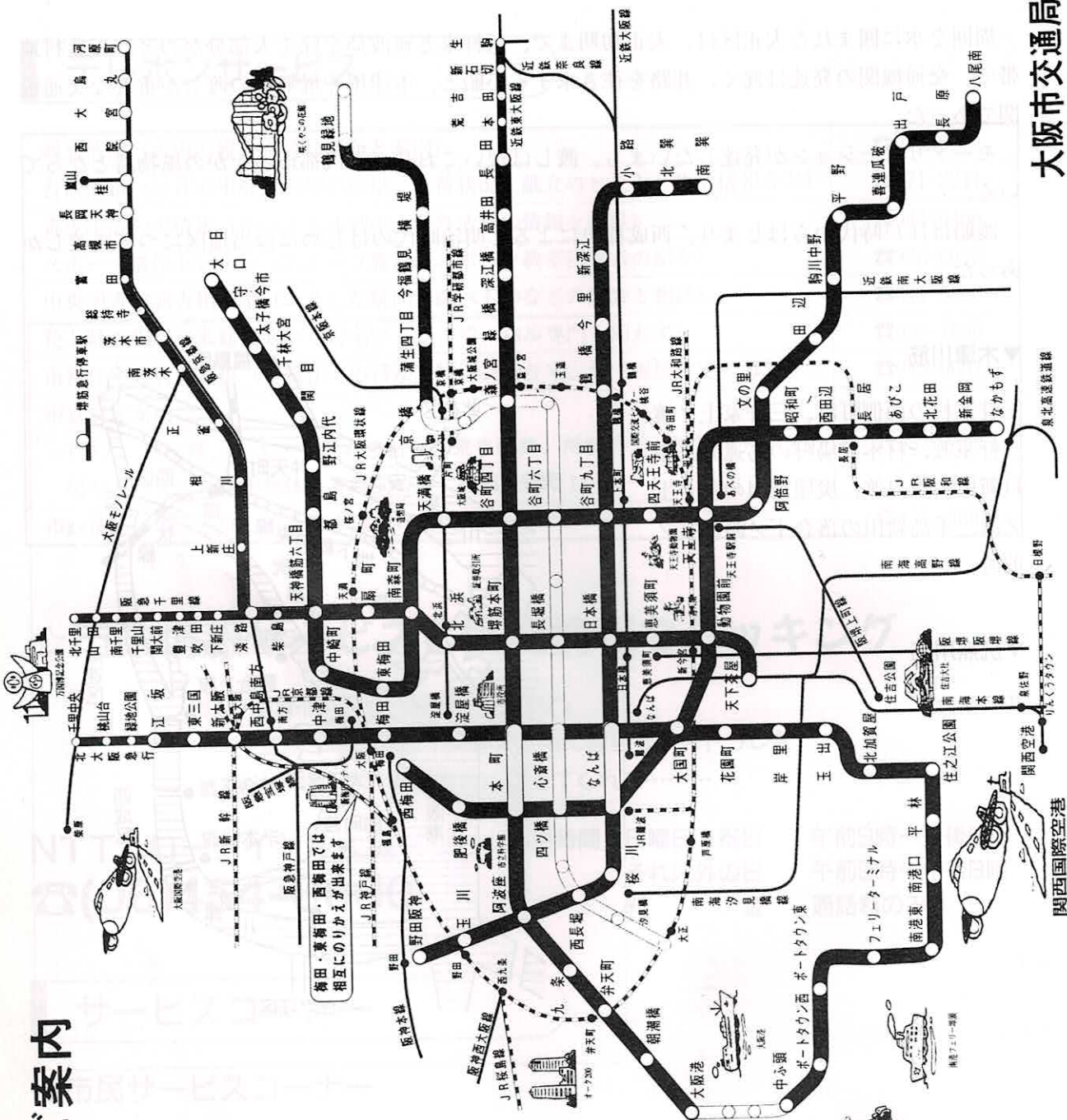
相互直通区間



工事中



私鉄

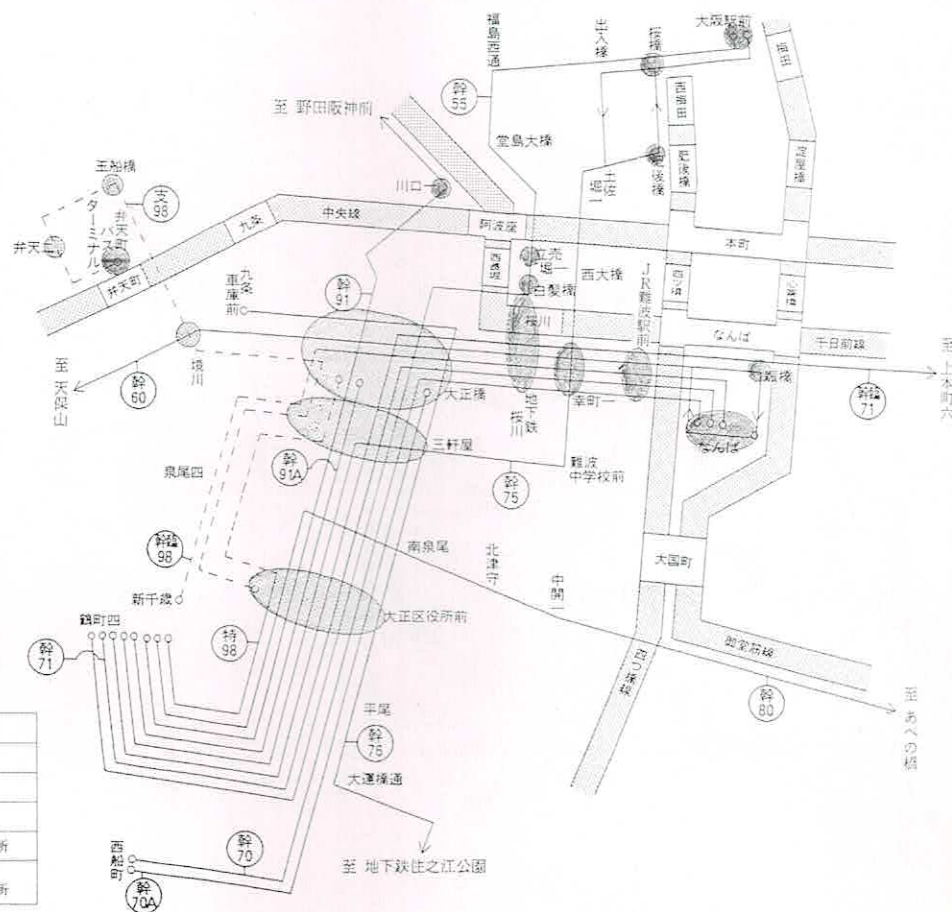


大阪市交通局

10

バス路線(大正区関連)

大正区
バス系統図



凡	例
——	幹線(区間)
- - -	支線(区間)
●	バス-バス乗換停留所
●	バス-地下鉄(有線)乗換停留所
●	バス-バス及び地下鉄(有線)乗換停留所

系統番号	区 間			系統番号	区 間		
	起 点	経 由 地	終 点		起 点	経 由 地	終 点
幹線55	鶴町4丁目	堂島大橋	大阪駅前	幹線80	鶴町4丁目	南泉尾	あべの橋
幹線60	天保山	大正橋	難波	幹線91	鶴町4丁目	大正橋	野田阪神前
幹線70	難波	大正阪神	西船町	幹線91A	鶴町4丁目	大運橋通	大正橋
幹線70A	西船町	大運橋通	大正橋	幹線91A急行	鶴町4丁目	大運橋通	大正橋
幹線70A急行	西船町	大運橋通	大正橋	支線98	井天町バスターミナル	大正橋	大正区役所前
幹線71	鶴町4丁目	大正橋	難波	特98	鶴町4丁目	大正北中学校前	大正橋
幹線71A	鶴町4丁目	大正橋	戎橋	幹線98	難波	大正橋	新千歳
幹線75	鶴町4丁目	西大橋	大阪駅前	支線98A	井天町バスターミナル	玉船橋	境川
幹線76	地下鉄住之江公園	千本松橋西詰	九条車庫前	支線98B	大正橋		大正区役所前
				支線98C	大正橋		新千歳

(注) 幹線71Aについては、復路のみ運行

発行 平成7年3月 (1995年)
大阪市大正区役所総務課
大阪市大正区千島2丁目7番95号
電話 553-3311
印刷 株式会社ゼンリン大阪支社
編集協力 株式会社 有宏写真

(474)



オリンピックを大阪に!